

フリーチョイス

岩手県を調べよう

発展

解答

組

番 名 前

① 岩手県の水産業 ★岩手県の海岸地形と水産業の特色がわかります。

次の各問に答えなさい。

- (1) 岩手県などの太平洋に面している、右の地図のⅩの海岸を何といいますか。②八戸～牡鹿半島。
- (2) (1)の海岸の南部に見られる、せまい湾が複雑に入り組んだ海岸を何といいますか。②出入りが多い。
- (3) (2)の海岸の波の静かな湾内で行われている、次の漁業を何といいますか。

- ① かきやわかめなどの魚介類を、網を張った海や人工の池で、大きくなるまで人工的に育てる漁業。
- ② あわびなどを卵からふ化させ、稚貝(稚魚)をある程度まで育てたのち、自然の海や川に放す漁業。

(4) 右の統計資料は、

岩手県	宮城県	徳島県
46%	30%	10%
兵庫県	長崎県	その他
5%	2%	7%

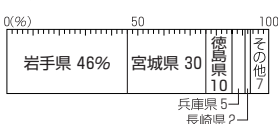
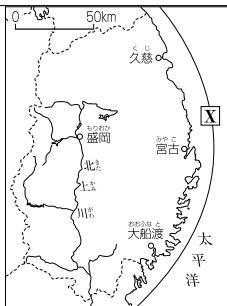
2006年(「第82次農林水産省統計表」)

ある水産物の収獲割合である。これをもとに、上の帯グラフを完成させなさい。

- (5) (4)の水産物は何か、次から選び、記号を書きなさい。

ア の り イ ぶり ウ わかめ エ ほたて貝

- (6) 右上の地図のⅩの海岸の沖は、好漁場となっている。その理由を、次の二つの語句を用いて簡潔に書きなさい。(暖流 寒流) ②北上する黒潮と南下する親潮。



① <10点×7>

- (1) 三陸海岸
- (2) リアス海岸
- ① 養殖漁業
- (3) ② 栽培漁業
- (4) (左の帯グラフにかく)
- (5) ウ
- (6) (例)暖流と寒流がぶつかるから。

(採点基準) (2)「リアス式海岸」も可。
(3)①「養殖」「養殖業」も可。

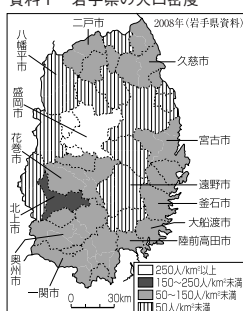
② スキルUP 作図&文章記述にチャレンジ

★岩手県の人口が多い都市、工業が発達している地域、工業の変化がわかります。

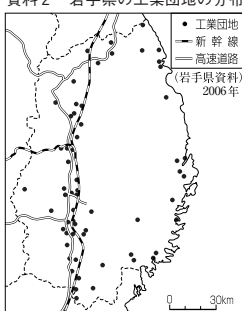
② 都市と工業 右の資料を見て、次の各問に答えなさい。

- (1) 資料1を見て、人口密度が250人/km²以上の市町村を、解答らんの地図に色でぬりなさい。
- (2) 資料2の工業団地はどのようなところに集まっているか。交通網との関係と、資料1の人口密度の関係の二つの面から、簡潔に書きなさい。

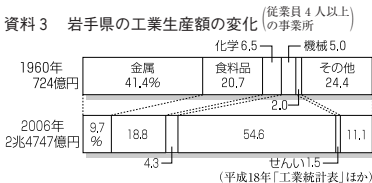
資料1 岩手県の人口密度



資料2 岩手県の工業団地の分布



- (3) 資料3を見て、この40年ほどの間の岩手県の工業生産額の内訳の変化を読み取り、岩手県の工業の中心がどのように変化したか、簡潔に書きなさい。



② <10点×3>

- (1) (例) 新幹線や高速道路が通る、人口密度が高い地域に集まっている。
- (2) (例) 金属工業中心から機械工業中心に変化した。



- ① (1) 三陸海岸は陸奥(青森県)、陸中(岩手県)、陸前(宮城県)

- に、またがることからついた。
- (2) 天然の良港に恵まれている。
- (3) ①②を「育てる漁業」という。

- ① かきやわかめなどの養殖漁業。

- ② あわびなどの栽培漁業。

- (6) 魚には暖流で育つ魚と、寒流で育つ魚がいる。三陸沖では、この両方の魚がとれる。

これも丸①(6)

(例)暖流を好む魚と、寒流を好む魚の両方がいるから。

- ② (1) 盛岡市、北上市など、北上盆地に位置する市町村の人口密度が高くなっている。
- (2) 人口密度が高いところは、交通の便がよい内陸部で、そこは工業団地も多く分布する。
- (3) かつては金属工業がさかんであったが、現在は機械工業がさかんである。

これも丸②(2)

(例)工業団地は高速道路や新幹線沿いに多く、そこは人口密度が高い地域である。

これも丸②(3)

(例)金属工業の生産割合が大きく減り、機械工業の生産割合が大きく増えた。

作図をマスター!

答えはおもて面にあるよ!

しっかりCheck! の答え

- ①近代工業
- ②伝統的工芸品
- ③太平洋
- ④畑作農業(畑作)
- ⑤観光地

- Q 右の地図とグラフは、岩手県の土地利用と耕地面積の割合を示したものである。耕地面積のグラフを見ると、岩手県では、水田の割合が高いことがわかる。その水田が分布している地域はどこか。土地利用の地図の、水田のおおよその地域を、○で囲んで示しなさい。

